

## 「テーマ科目」について

「テーマ科目」とは、「会話」「読解」といった技能をベースにした枠組みよりも、学習活動をより広く捉えて展開させるタイプの科目で、

テーマにそって、「この授業では、なにを、どのように、なんのために実施するか」を担当講師自身が決めて展開する科目

担当講師の創意工夫のもとに作られ、提供される科目

とします。テーマは、後述するカテゴリーや内容例を参考に、レベルも含めて自由に設定してください。

応募の際には、カテゴリーごとに、1科目ずつ申請してください。同じ科目名で異なるレベル設定をされる場合は、レベルによる目標や内容の違いが明確になるようにご記入をお願いいたします。

お示しいただいた「科目名」については、カテゴリー内での調整や単位認定のための調整などを行うこともあります。

- |                     |           |                |
|---------------------|-----------|----------------|
| ● A. 日本語のしくみ        | 1 - 8 レベル | } 150 ~ 200 コマ |
| ● B. コミュニケーション・デザイン | 1 - 8     |                |
| ● C. 社会・文化          | 1 - 8     |                |
| ● D. メディア解読         | 1 - 8     |                |
| ● E. 文学の世界          | 1 - 8     |                |
| ● F. 創作活動           | 1 - 8     |                |
| ● G. アカデミック・リテラシー   | 1 - 8     |                |

カテゴリーの説明と内容例については、別紙参照のこと。

## 「活動型」科目について

### 活動型クラスとは何か その考え方と人材

この活動型クラスの意味は、これまでの日本語教育が開発してきた「文型」・「語彙」・「シラバス」といった概念を越えて、新しい教育活動形態を作り出そうとするところにあります。その活動の概念を要約すれば、以下の2点に集約されます。

- (1) 教師は、自らの教室デザインを明確に持ち、しかも動態的な教室活動を学習者とともに作り上げること（教師主体）。
- (2) 確定した語彙・文型等の知識伝授を目的とせず、クラス内の相互関係による「今ここ性」に基づくコミュニケーション実践として教室を機能させること（学習者主体）。

この一連の活動型クラスでは、参加者一人一人の課題を、日本語による議論を通して検討しますが、このことは、3ヶ月でこんな能力がついたとか、こんな知識・技術が身についたということを意味しません。むしろ、そうした日本語能力の向上をめざす能力主義の考え方から一定の距離を置くことで、大学における自分自身の学びの意味を考えつつ、それを表現化するという成果プロセス主義の立場をとります。また、この動態的な活動が次の学習への気づきにもつながるような循環型育成プログラムとして機能するよう提案します。あえて言えば、日本語能力向上という目の前の具体的なものを越えて、参加者一人一人が大学で学ぶことの意味を日本語による活動を通して自律的に考える環境を創ろうという試みです。この活動型プログラムに共通する概念キーワードは、固有性・共有性・対話・相互性・動態性・自律・協働・創造、です。

活動型クラスは、日本語センター1998年のカリキュラム改訂の折に「総合」という形態で出発しました。その後、2004年のカリキュラム改訂の折、教科書型クラスと並行する形で、カリキュラム上に設置され、2008年には「総合日本語」の一部に組み込まれました。世界の日本語教育界において、この活動型日本語教育の理論と実践を提言してきたのは、間違いなく早稲田の日本語教育であり、このクラス設定は、早稲田にしかできない重要な位置づけとなるでしょう。

この活動型教育活動の運営には、教室設計が明確であり、かつ学習者とのインターアクションによって、新しい教育活動を創造していけるような人材が求められます。この人材は、内省的かつ自律的实践家として評価されうる人材でもあります。その意味では、これこそ日本語教師の来るべき専門性を備えた人材ともいえるでしょう。活動型クラスは、こうした人材を求めます。

#### 2010年度公募

計51コマ

	週5コマタイプ	週3コマタイプ
1レベル	1クラス	1クラス
2レベル	1クラス	1クラス
3レベル	1クラス	1クラス
4レベル	1クラス	1クラス
5レベル	1クラス	1クラス
6レベル	1クラス	1クラス
7レベル		1クラス
コマ数	30コマ	21コマ

5コマタイプは週に5コマ展開で1クラスを構成し、3コマタイプは同じく週に3コマで1クラスを構成します。

申請用紙へ記入するにあたり、講義概要やシラバスについては、週5コマか3コマかを選び、その範囲でどのような活動を展開したいか、どのようなチームティーチングを行いたいかを自由に書いてください。「例」としても必要最低限しか提示してありませんので、自由な発想の展開を期待しています。